



FŪ EN
楓園

CONTENTS

- | | |
|------------------------------|-------------------|
| 1 — 特集 大学改革 | 10 — 小学部 NEWS |
| I 学長対談 金城学院大学学長 柏木哲夫先生と語る | 11 — 中高部 NEWS |
| II 大学新生 | 13 — 大学 NEWS |
| 7 — この人に聞く 丸谷仁美 | 14 — 行事報告 6月～8月 |
| 8 — 聖書の言葉・英和探訪 | 15 — 英和の植物通信・お知らせ |
| 9 — 東洋英和幼稚園 NEWS・かえて幼稚園 NEWS | |



■大学授業風景「環境論／環境と技術」

下坂 英先生が手にしているのは絶滅鳥類“ドードー”のぬいぐるみ。環境問題、生物多様性、人間との共生について学び、未来について考えます。

学長対談

女子大学にこそできる改革とは——柏木哲夫先生と語る——

金城学院学院長・大学学長
東洋英和女学院大学学長・副院長 鮑戸 弘
柏木 哲夫

神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も減びないで、永遠の命を得るためである。

ヨハネによる福音書 三章一六節

キリスト教主義女子大学であること

鮑戸 金城学院大学の大学案内を拝見させて頂きました。とても立派なもので感心いたしました。

柏木 いいパンフレットを作るのはわりと簡単なのですが、パンフレットの中身を実現するのが大変です。

鮑戸 東洋英和は入試広報委員会が入試と広報を両方担当していたのですが、私が学長になった時に、入試委員会と広報委員会を分け、私が広報委員長となって大学案内を作るようにしました。先生のところの案内によりますと、金城学院大学は五学部二三学科です。東洋英和女学院大学は二〇一〇年度より二学部四学科になります。

柏木 はい。金城学院は大学が五三〇〇名、幼稚園と中学、高校全部合わせると七五〇〇名ほどです。

鮑戸 私共は大学が約二四〇〇名、幼稚園からの総数は四三〇〇名ほどです。先生が学長をなさっている金城学院と東洋英和女学院は、ともにミッションスクールであり、女子教育を堅持しているという共通点があります。しかし今の時代、この二点が学生募集という点では逆風となっているのではないかと、また学生からはどうしてキリスト教を勉強し

なくてはならないのか、という声も新入生との合宿などに行きますと最初に出てきます。

柏木 金城学院ではディスカッションを行い、執行部から一般の教職員まで、キリスト教主義と女子教育を堅持していくということに一致しています。

鮑戸 私共は学院と大学の間では、キリスト教教育について若干の温度差があるのですが、大学の教授会でもこの二点については完全に一致しているという状況です。一つの問題は幼・小・中・高では毎朝礼拝をしてから授業をしています。大学では礼拝は自由参加です。キリスト教概論だけが必修となっていますが、それ以外は選択です。理事会・評議員会などで大学でのキリスト教教育は弱い、と言われてしまっています。大学生は信教的にも難しい時期なので、幼稚園から高校までとは別に考える必要があると考え、大学独自のキリスト教教育のあり方を模索しているところ

です。
柏木 金城学院には小学校はなく、幼稚園、六年間一貫教育の中高、大学があります。教員のクリスチアン率は、幼稚園は七〇%、中高で七五%ですが、大学では二〇%を切っています。五三〇〇人の学生には一六〇人の教員が必要で、これが全部クリスチャンというのは不可能です。規模が大きくなるとキリスト教の雰囲気は薄まってしまうのは、ある意味仕方がないことなのかもしれません。

鮑戸 東洋英和では中高部は五割、幼小は八割がクリスチャンです。大学では業績審査に通った者の中から選ぶのでどうしても二割くらいになってしまっています。

柏木 公募する時はクリスチャンを望む、キリスト教信仰に理解を示してください。ただ研究業績と信仰が両立している方は多くはない。日本人の中のクリスチャン比率から考えると仕方がないですね。

鮑戸 価値が混乱した現代社会の中でキリスト教教育の重要性はますます高まると考えています。私達には静岡英和、山梨英和という姉妹校があり、共にカナダメソジスト教会から派遣された宣教師により設立された学校ですが、山梨英和も静岡英和も大学は共学に切り替えました。女子教育を堅持しているわが校はその良い点をアピールしていく必要があります。一番はつきりしている点は、男女共学校よりも女子大学の女性の方が、リーダーシップが育つのではないかとということです。全ての活動の部長や会長も皆女性ですから。共学の大学では会長が男で副会長が女とか、女性はサブのような形が多いのですが、英和の学園祭などで一〇〇人以上の学生を束ねている女性の委員長は本場に頼もしいですね。就職する時もリーダーシップがあるということとは、良くみられます。

鮑戸 弘 (あくと ひろし)

1959年東京大学教育学部卒業。1977-8年オハイオ州立大政治学部客員研究員。1988-9年コンピア大学東アジア研究所客員研究員。1995年本学教授。2005年学長に就任。現在、東京大学名誉教授。放送倫理・番組向上機構(BPO)理事長。日本行動計量学会理事長。専攻は社会心理学、政治心理学、経済心理学。著書に『社会調査ハンドブック』、『メディア政治時代の選挙』、『売れ筋の法則』ほか。



柏木哲夫 (かしわぎ てつお)

1965年大阪大学医学部卒業。同大学精神神経科に勤務し、ワシントン大学に留学。帰国後、淀川キリスト教病院でターミナル(末期)ケアに従事。1984年に日本で2番目のホスピス開設。副院長、ホスピス長を経て、1993年大阪大学教授に就任。2003年金城学院大学教授、2004年同大学学長に就任。2007年金城学院学院長に就任。1994年日米医学功労賞、1998年朝日社会福祉賞、2004年保健文化賞受賞。





名古屋市内の金城学院大学で対談が行われました

が、女性が大学祭の実行委員長になったことは一度もありませんでした。しかし金城では大学祭の委員長も副委員長も女性です。彼女達はリーダーのやりがいと、もう一つ大切だと思ふのは、リーダーのやるせなさ、つらさをも学べるのですね。一所懸命やっているのに、下が協力してくれないとか、思い通りにいかないとか、リーダーのつらさ、それを学べるというのがすごく大切でしょう。

鮑戸 生涯を通じてこの経験が生きていることでしよう。一九六〇年代、ウーマンリブの全盛時代に書かれたエリカ・ジョングの『飛ぶのが怖い』という名著の中に、「女性はナンバー12になりたがる。ナンバー1になって責任を取るのはいやだがリーダーにはなりたいたい」

双方向の国際交流を目指して

ナンバ12くらいでたくさん部下を持ちたい」とあります。女子大にはリーダーのプラスト大変さがあります。柏木 そうですね。学長もやるせないですが(笑) そのやるせなさを学ぶということはすごく大切だと思います。

二〇〇年になり、大学も設立六〇年になるという大変珍しい年で、皆で二〇・六〇とPRをしております。伝統的に「英語の金城」と言われていますがなかなか中身が伴わず、国際交流が伸び悩んでいます。国際交流センターがあり、留学生を送り出すほうは順調ですが、受け入れのほうはやはり難航しています。奨学金が出せればもっと来てくれるのではないかと思います。費用の問題があります。今、一九の大学と提携しています。イギリス、フランス、アメリカ、カナダ、オーストラリア、中国、韓国、タイなどで、交換留学生はすべて学費が無料にもかかわらず、留学生は二〇人程度です。少なくとも三、四〇人は来て欲しい。これからの学生達のことを考えると、国際感覚を身につけさせることが非常に重要です。なかなか受け入れが難しいというのが現実です。

鮑戸 英和で今困っているのは国際化についてです。大学は創立二〇周年を迎えましたが、短期大学は五〇年の歴史がありました。短大時代から「英語の英和」と言われ、英語教育は少人数教育で授業も独特と評判を頂いているのですが、国際交流が非常に遅れています。そこで二〇〇七年の改革の時に、国際社会学科国際コミュニケーション専攻の留学希望者は全員海外に行けるようにしました。全学的には、去年は約二二〇人、今年度、来年度も同程度海外へ行く予定です。それは一歩前進したのですが、外国人留学生がまだ一桁で、今そこに力を入れているところでは、アメリカ、タイ、韓国、イタリアなどから七、八人毎年来ていますが二、三〇人は来て欲しいですね。行くだけでは帰国したらまた元の日本人の普通の生活に戻ってしまふ。留学生がキャンパスにたくさんいればそこで外国の文化に日常生活の中で触れられる。そういう意味で外国人留学生を増やすことが今一番の目標ということになっています。

鮑戸 巨大大学と異なり、我々のところは英語で授業をする余裕が殆どありませんから、ある程度日本語ができる人でないと受け入れられない。だからなかなか増えない。柏木 経営のために留学生を、という大学もあります。金城ではそういう感覚はまったくないです。鮑戸 東洋英和もあくまでも学生諸君が異文化理解・国際交流のために不可欠なのだという点で進めています。奨学金とか、授業料免除とか、財政援助をしたかったのでこれから理事会を説得したいと考えています。

柏木 共通の悩みですね。「英語の金城」と言われるにふさわしい金城にしなければならぬと考えています。時代の要請という点では成功した例なのですが、金城には数年前からエアラインプログラムというのが英語英米文化学科の中にあり、JALと提携して、国際線に乗務できるキャビンアテンダントを養成するものです。JALからマナーなどの教授に来て頂いて、こちらからは英語・コミ

大学で必ず身につけてほしい学問

鮑戸 ところで今、盛んにリベラルアーツということが言われています。我々のところもリベラルアーツが専門教育か？と論議してきました。私共のところは大学院へ行く学生は数パーセント以下で殆どの学生が学部を出ると社会に出ます。ですから学部は教養で、専門は大学院というわけにはいかない。そこで私は前から一つの専門をしっかりとやって、その学問に近い学問を三つか四つ、まわりに置いて、一つの専門は学科に匹敵するぐらいしっかりとやり、周辺の諸科学も幅広く学ぶ。専門では楔のように深くやって、その周辺を少し幅広く学ぶという「専門に根差したりベラルアーツ」ということを謳っています。どの学科も四つほどのグループより成っており、そのうちの一つを専門にして後は自由に学ぶ。これはある意味では苦肉の策で、小さな大学では心理学科で一年から四年間ずーっと心理学ばかりやっているというわけにはいきませんから、心理学、社会学、教育学、宗教学でワンセットとして、その足りない部分を勉強させる、というのでスタートしてきました。要するに専門を一つはしっかりとやって、周辺は教養として勉強していく、ということ。先ほどの「キリスト教教育」、「新しい時代の女性リーダーの育成」、そして「専門を核にしたリベラルアーツ」を大学の建学理念の三本柱とたてているのですが、先生のところでは教養か専門かという点はどのように指導されていますか。

柏木 金城では今、共通教育の見直しを行っています。共通教育とは金城学院に入学した全学生は大学としてこのことを大事にしている。で共通して取ってください、そういう意味です。教養よりも共通なのです。その一つとして、数年前からスタートした「個重視・女性のためのキャリアサポート」というプロ

グラムがG.P.（優れた大学教育の取り組み）として、文部科学省により採択されました。キャリアは一つのキーワードで女性のキャリアという共通教育の一つの柱としています。普通キャリアと聞きますとすぐに就職活動とか仕事とかいうことになりませんが、私の哲学ではキャリアは人生で、「卒業してすぐに結婚するキャリア」という言い方もできるわけです。女性の一生である子ども時代、思春期、結婚、出産、育児、中年、老年、死までを女性のキャリアという。その中で勿論大学生として重要な課題である就職とか仕事の問題に多くの時間を取ります。共通教育の中で女性のライフサイクルを全部きちっと教えるために、どの学部からも教員が参加して女性のキャリアを支援しています。私も一年生全員に「いのちの教育」をしています。リベラルアーツというよりも大学が金城の学生に共通して知って欲しいことを大学の教育姿勢として打ち出しています。女性に特化したという点と、やはり大学生活、就職に焦点を置き、その前後のライフサイクルにも目を留めるキャリア教育です。

鮑戸 それは重要ですね。
柏木 ほかにG.P.に採択されたキャリアエールという制度があります。キャリアにエールを送るという造用語なわけですけれど、数年前に立ち上げました。卒業生限定のカウンセラーが主に就職相談を受けますが、学生生活、就職のこと、時には家庭問題に関しても話を聞きます。「キャリア」を全体的なキーワードとして扱っています。

鮑戸 それは教職員の組織とは別ですか。
柏木 全く別ではありません。卒業生なので、何でも話せるようです。毎日二人くらいのカウンセラーが来ます。皆産業カウンセラーの資格を持った人達です。
鮑戸 大学の事情や学生生活の状況もわかっているわけですね。

柏木 そうなのです。心理学科の出身でこういう職業に就いている人がかなりいるので、それはありがたいことです。

鮑戸 それはいいですね。我々のほうも学生、教職員でも心の病が増えています。学生相談室には行きにくい、という学生も行きやすいですね。

柏木 本学でも学生相談室があり、心の悩みなどの窓口となっています。

鮑戸 うちも学生相談室の前の室長さんが、学生相談室という心の病、ということ、行きにくくなる。そうではなくてどんなことでも相談できる場所が欲しい、と言っていました。「自転車鍵をなくした」ということでも相談に行ける場所、そこから色々話に出せます。何でも相談室にならないと、本当に困った子が来られないのです。一人で苦しんで学校に来なくなってしまう。そういう子が本当に増えてきています。

大学—嵐の時代のリーダーシップ

鮑戸 先生のほうが今一番困っていることは何ですか。大学経営などで。

柏木 正直言って定員が割れないが、一番心配です。総論的には大学全体で定員は割れずにはいますが各論では定員を切っている学科もあります。

鮑戸 福祉はどうですか。

柏木 非常に厳しい状況ではあります。対応策として従来から「福祉社会学科」という名称が受験生にわかりにくい、と言われていた。で二〇一〇年より名称を変更して「コミュニケーション福祉学科」とします。カリキュラムも少し変えました。色々な工夫をしています。

鮑戸 英和も人間福祉学科があり、順調に減っています。去年一年間かけて検討し、福祉学科撤退という決心をしました。人間福祉学

科では、半分は保育士をはじめとした福祉関係に行きますが、半分は一般企業に入っています。一般企業に入っても、基礎として福祉の勉強をしているので、これからの高齢化社会で福祉の基礎がしっかりしているとしても好評なのです。大変悩んだのですが、結局、人間福祉学科は来年度からは幼稚園免許と保育士資格を担当している保育子ども専攻と発展的に統合し、「保育子ども学科」に再編成することにしました。福祉は企業でも非常に重視している。一般教養のレベルでも福祉の授業を是非取るよう、奨励しています。福祉は保育子ども学科の中で活躍してもらおう、という形で改革しました。全員が喜ぶ改革は絶対できません。やはり最終的には学長の責任で決断していくしかない。幸い今回は執行部の先生方が全面的に支援してくれましたので、何とか実現できました。

柏木 大学が大変な時期にリーダーシップをとるのはお互い大変ですね。
鮑戸 学長として同じように苦労されていることがよく分かりました。これから益々大変な時代を迎えると思いますが、日本の未来を担う女性達のために、少しでも役に立てるよう、お互い努力して参りましょう。本日はお忙しいところ、貴重なお時間を頂いて、対談させていただき、本当にありがとうございます。



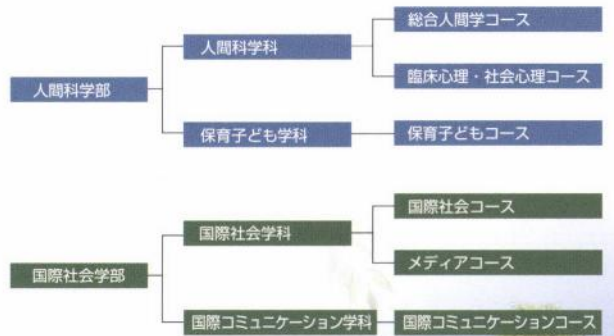
「東洋英和らしくあり続けるために」
大学が新しくなります！

専門に根ざした教養人を育て、社会に送り出すこと、「敬神奉仕」の理念に基づいたキリスト教教育による人間形成に取り組むこと、本学が建学当初から目指してきた教育の姿勢です。複雑さを増す現代社会、時代の変化に対応しながら、大学はこの精神の伝統の上に新しい体制を構築しました。一人ひとりの関心や意欲を大切に、未来を切り開いていく力を持つ女性の育成を目指します。

人間科学部

二〇一〇年度の人間科学部について——理念・全体像・改革の経緯——

人間科学部学部長 高木 栄作



一九八九年の大学創設時、人文科学部人間科学科（学年定員八〇名）として出発した人間科学部は、一九九五年に学部昇格（同一六〇名）、次いで一九九七年に人間福祉学科（同一〇〇名）を新設、さらに定員増を受け入れ、二〇〇一年度には学年定員三四〇名（人間科学科二二〇名、人間福祉学科一二〇名）となり、急速な発展・拡大を遂げてまいりました。その間、一般企業はもとより、幼児教育・福祉・カウンセリングの現場における専門職として活躍する多くの卒業生を送り出してきました。これは、「現代の社会状況を直視し、現実的かつ多角的な視点に基づ

く人間理解をもって、教育、福祉、カウンセリング等の分野で力を発揮できる女性を育成すること」を目指した人間科学部の基本姿勢が、広くかつ着実に日本社会に受け入れられてきたことを示すものでもありました。しかしながら、日本社会全体が少子化していく中で、人間科学・福祉系の他大学の学部新設・改組が相次ぐなど、内外の情勢は、従来の枠組みを維持することを許さず、「選択と集中」による自己改革を余儀なくされました。大事なものを選択し、それを集中的に伸ばしていくための再編作業が必要となったのです。その困難な作業の結果、人間福祉学科

は児童福祉部門に特化し、さらに人間科学科の保育子ども専攻と合流し、保育子ども学科（学年定員一〇〇名）となり、子どものための教育とケアを総合的に学ぶ学科となりました。また、人間科学科は、学際的な立場から幅広い人間理解を目指す総合人間学コースと、心理学をより集中的に学ぶ臨床心理・社会心理コースの二つのコースからなる学科（同一六〇名）となり、新たなスタートを迎えることになりました。

人間科学部の二学科は、従来どおり、キリスト教と幅広く奥深い人間諸科学（心理学・社会学・教育学・宗教学）を基本として、自他についてさまざまに学ぶ中で専門性を身につけ、隣人への共感と思いやりをはぐくみ、一般企業はもとより、教育、福祉、心理の専門領域で社会貢献できる女性を育成するという基本姿勢を堅持して、教育研究を進めてまいります。少人数のゼミナール、アドバイザー制度による四年間を通じた個別指導といった従来のきめ細かな教育とともに、早期からのキャリア教育、初年次教育を充実させ、学生が四年間で自分の成長を実感できる学び舎にしていきたいと教職員全員が願っております。卒業生をはじめとする学院関係者の方々のご理解と変わらぬご支援をお願いする次第です。

国際社会学部

二〇一〇年度の国際社会学部について―理念・全体像・改革の経緯―

国際社会学部部長 増田 弘

一九八九（平成元）年に創設された東洋英和女学院大学は、本年四月をもって丸二〇周年を迎えた。そもそも本学は一世紀を超える伝統あるミッションスクール、六本木の東洋英和女学院の一組織として誕生したのである。そして国際社会学部は、創設時の人文学部「社会科学科」を基礎とするが、六

年目に「社会科学部」へと昇格し、次いで二〇〇一（同一三）年に「国際社会学部」と名称を変更して現在に至っている。さて本学は、昨年来、全学的な改革に着手した。国内での「少子高齢化の急進」や「国際環境の悪化」（紛争・難民・温暖化・汚染・食糧エネルギー不足）など、大きな時代のうねりを真摯に受け止める

と同時に、財政基盤を着実に固めて、新時代にふさわしい教育・研究システムを確立することが緊急課題となっているからである。このような大局的観点に沿って両学部部の改革案が出揃い、来年度の二〇一〇年度からスタートすることになった。

具体的には、国際社会学部はこれまでの社会科学システム専攻が「国際社会学科」へ、また国際コミュニケーション専攻が「国際コミュニケーション学科」へと昇格し、一学科から二学科体制へと生まれ変わる。そして一学年の学生定員も各二〇名、計二四〇名へと四〇名増加する。人間科学部（人間科学科・保育子ども学科）の定員二六〇名（八〇名減）と合わ

人間科学部人間科学科

人間科学科では、1年次の3つの必修科目「フレッシュマンセミナー」「知の構築講座」「日本語表現」によって、大学での学びの基礎作りをします。考える習慣・学ぶ習慣・読む習慣を身につけ、さらに、論理的に考える力・筋道立てて話す力・正しい日本語を書く力を伸ばします。これら3つの基礎科目をしっかりした土台として、2つのコースそれぞれの専門的な学びを発展させていくことができます。

【総合人間学コース】

- 特色① 総合的な人間理解を目指し、一生考え続けられる力を培う
「いのち」「学びと関わり」「文化と歴史」という3つのテーマで人間の深い理解を目指します。
- 特色② 卒業論文と卒論発表会で能力を磨く
「卒業研究」は必修。専任教員の指導のもと研究テーマを決めて研究を行い、発表します。リサーチ能力、分析能力、論理的思考能力、表現能力、プレゼンテーション能力を発揮する4年間の集大成です。
- 特色③ 資格・免許で能力を証明する
中学（社会）・高校（公民）の教諭申請中、認定心理士や社会調査士などの免許や資格が取得できます。学びの成果を証明し、将来の可能性を広げるものとして取得を目指すのも選択の一つです。

【臨床心理・社会心理コース】

- 特色① 臨床心理学と社会心理学を併せて学ぶ
この2つの学問領域の協力関係が幅広い視点を持ったところの専門家の基礎を築きます。
- 特色② 実習・調査研究を重視する
病院や家庭裁判所などの施設や現場を見学し、臨床心理士や家裁調査官などの心理職に就いた先輩たちから体験談を聞くことで、仕事を具体的に知る機会を設けています。また演習科目では実験・調査を重視し、その実施と分析を通して、人間理解に迫ることのできる知識と技術を身につけていきます。
- 特色③ 心理学基礎科目群で基本を固める
「神経心理学」では脳のメカニズムや神経回路の仕組みなど心理学のベースになる脳科学の最先端の知識を学びます。また「心理統計学」では、明確なかたちのない感覚や感情をとらえるための測定テクニックを習得し、心理を学ぶための基礎的方法を学びます。

人間科学部保育子ども学科

保育子ども学科は、建学の精神「敬神奉仕」の具現化を目指し、キリスト教の人間観と子どもの理解に立った保育者養成の伝統を継承しつつ、人間の望ましい在り方の実現を図る人間福祉の理念を統合して、子どものための教育とケアを総合的に学ぶ学科として再生しました。

経緯 1905（明治38）年にカナダメソジスト教会婦人宣教師によって創設された上田保母傳習所を源に開始された東洋英和の保育者養成は、その理念と伝統を短期大学保育科47年を経て築き、1997（平成9）年に人間科学部人間科学科所属の保育者養成として継承されて、13年間の歴史を刻んできました。このたび、大学の人間科学科から1学科として独立誕生しますが、これまで受けた人間科学科のリベラルアーツの恩恵を失うことなく、福祉の理念を新たに取り込んだ学科として更なる発展を期しています。

- 特色① 敬神奉仕とリベラルアーツ
保育子ども学科は、敬神奉仕の建学の精神に基づく学識すなわち人間科学部が目指すリベラルアーツを豊かに身につけた総合的人間力を備えた保育者養成を目指します。
- 特色② 資質の高い保育者の養成
福祉的な視点と教育を結ぶケアと教育の統合としての保育理論を生み出し、その理論の実践に努めることによって、子どものための福祉と教育についての専門的知識と実践力を備えた保育者養成を目指します。
- 特色③ 経験・省察・連携による新しい学習形態の実践
文部科学省より2006年度「資質の高い教員養成推進プログラム」として採択された、経験・省察・連携による新しい学習形態の更なる充実発展を目指して、国内外のさまざまな施設でサービス活動を通して学ぶ「サービス・ラーニング」や国内外の子どもに関わる施設での実践・研修プログラムとしての「フィールド・ワーク」を実施します。
- 特色④ 地域のコミュニティ形成に寄与できる保育者養成
今回新しく導入された「コミュニティ形成科目群」として福祉と地域コミュニティ形成の視点を持った科目、たとえば「共生教育論」などを履修することによって、地域のコミュニティ形成に寄与できる保育者の養成を目指します。

国際社会学部国際社会学科

【国際社会コース】

世界はどのような仕組みで動いているのでしょうか。そしてまた、私たちはどのように社会や世界と関わり、今後どのような貢献ができるのでしょうか。国際社会コースでは、現代の社会を国際関係、政治、社会、経済の観点から分析し、平和を愛する地球市民として、問題解決の方法を追究します。学生時代から社会と接点を持つ科目（インターンシップなど）を履修することで、学問的な知識を得るだけでなく、グローバル化する社会で求められる役割や、自身の持つ可能性も探究します。

特色① 国際社会の仕組みを理解する

世界の出来事を知るばかりでなく、どのような仕組みでそれらが発生するのかを学びます。国際関係、政治、社会、経済といった分野を、平和や環境、移民・難民問題などの重要なトピックを通じて、お互いに関連づけて理解できます。

特色② 実践科目群で行動力をつける

専門的な学びが、実際に社会でどう生かされるのかを体験し、考える実践科目群があります。企業でのインターンシップ、さまざまなボランティア活動への参加を通して、グローバル化する社会や市場をじかに感じましょう

特色③ 1年次からゼミで学ぶ

1年次から少人数でのゼミ教育を徹底します。3、4年次ではさらに専門的に学び、卒業論文をまとめます。ゼミでのディスカッションや教員からの丁寧なアドバイスにより、問題の把握・分析・解決能力が飛躍的に身につきます。

【メディアコース】

新聞・テレビ・ラジオ・雑誌・インターネット…。私たちはメディア・コンテンツのあふれた社会に住んでいます。あまりに身近なこれらのものが持つ社会への影響力や、コンテンツにこめられた意味・作成の仕組みを、どれだけ私たちは知っているのでしょうか。メディアの情報におぼれず、人を大切にするコミュニケーターになるために、政治・経済・社会とコミュニケーション、国際的教養を学びます。

特色① メディアと社会を学ぶ

メディアは社会形成に大きな影響を与えます。報道を行うジャーナリズム・メディア、文化を担うエンタテインメント・メディア、ニュー・メディアなどを分析し、政治・経済とメディアの相互関係を学びます。

特色② コミュニケーションを深く理解する

メディアはコミュニケーションの手段です。心理学や言語表現、そして言葉を使わない表現についても学び、コミュニケーションそのものを理解していきます。個人間のものからマスコミュニケーションまで広く学びます。

特色③ 多彩な実践の機会を生かす

コンテンツの発信者の視点を獲得するために、さまざまなメディア・インターンシップや、記事ライティング、アナウンスなどの実習の機会が授業に盛り込まれています。コンテンツの消費者でいるだけでなく、発信できるコミュニケーターになりましょう。

国際社会学部国際コミュニケーション学科

急激に進むグローバル化に対応するために、地域研究、異文化理解、国際協力、日本の文化・歴史などを学びながら、私たちと世界との関わりを考えます。貧困・飢餓・地域紛争などの国際問題から、洪水・砂漠化などの環境問題まで、今、私たちにできることは何かを考え、言葉と行動で表現できる活力に満ちた女性の育成を目指します。また英語コミュニケーション能力獲得のための教育に力を入れ、「話す・書く・聞く・読む」練習を徹底的に行います。グローバルな視野と高い英語能力を持って、世界と話し合えるようになりましょう。

特色① 充実した留学へ向けての準備

本学科では、希望者が全員参加できる語学留学などの制度を設けています。留学先で獲得した単位は、審査により本学の単位として認定されます。「Study Abroad Preparation」の授業をはじめ、留学を予定する学生にきめ細やかな指導をしています。世界各国の情勢や宗教の違い、語学学習の進め方から危機管理まで、事前に得た多くの知識が、留学期間を有意義なものにしてくれます。

特色② 豊かな教養に基づく高い国際力の習得

英語による情報が行き交う国際社会は、高い英語能力を必要としています。語学力だけでなく、アジア、アメリカ、アフリカ、ヨーロッパなど現代の世界各地の社会についてさまざまな知識を蓄え、豊かな内容を伴った総合的なコミュニケーション力を習得し、日本国内外で活躍できる女性を育成します。

特色③ 日本文化を知る

海外留学に出た学生は、口をそろえて「自分がいかに日本を知らないかを痛感した」と言います。そこで日本の文化・歴史など、日本を見つめ直すための充実した科目群を設けました。また外国の人々に日本語を教えるための、日本語教育法の課程も用意しています。世界のことを知るばかりでなく、日本人としての視点や立場を発信していくこともできるようになりましょう。

せて、一学年五〇〇名体制、四学年合計二〇〇〇名体制へとスリム化している。本学部では、前記のような混迷かつ不透明性を増す国際社会の現状を踏まえ、一体何が問題の本質であるのか、その問題をどのように解決したらよいのかなど、内外の課題や理念に積極的に主体的に取り組む学生、また社会貢献を志す女

性を育成したいと考えている。そのため新「国際社会学科」は、国際関係論・国際経済学・国際社会学といった学問領域を中心に学ぶカリキュラムを置くと同時に、グローバル化が進む中でメディア媒体による報道や情報網の拡大・拡散を踏まえたメディア関連科目を配している。他方、新「国際コミュニケーション学科」

は、アジア・アメリカ・ヨーロッパ・中東など特定の地域研究と、海外で日本を紹介できるような日本文化研究の学問領域を中心とするカリキュラムを組むとともに、国際語である英語による円滑なコミュニケーション能力を養って国際社会で活躍できるような体制を意図している。また両学科ともインターンシップや

ワークシopp科目を設けて、在学中から実社会を部分的に学習体験するカリキュラムを盛り込んでいる。このようなニュー国際社会学部にご注目いただき、多くのご支援を賜りたいと願っている。

私の背中を押し続けてくれた人々



一九八九年 高等部卒業 一九九三年 大学人間科学科卒業 丸谷 仁美
 まるたにひとみ
 秋田県立博物館主任（兼）学芸主事。一九九六年成城大学大学院文学研究科日本常民文化専攻博士課程前期修了。
 二〇〇四年より現職。

一〇年間の思い出

一二歳の時、ぶかぶかの制服を着、満員電車でつぶされそうになりながら初めて学校に行った時は、「これが六年間続くのか」と心底不安になった。ごく普通の家庭で育った私には、「ごきげんよう」と挨拶することや、家族でバイオリンを演奏する人がいること、外国で育った人が多く、英語がさりげなく飛び交うような世界は、まるで別世界だったからだ。けれど一度話をしてみると、前向きで、好奇心に満ちた人が多く、おかげで毎日、新しいことを発見することができた。中学高校は演劇部で忙しかったこと、夜遅くまで友人達ととりとめもない話をしていたこと、試験前にはドラえもんの「暗記パン」というアイテムが欲しいと本気で思ったこと、トランプをしたり、漫画を読んだりして反省文を何

枚か書かされたこと、修学旅行が楽しかったことなど、刺激に満ちた、しかし今から思えば呑気に過ぎていった日々を、時々、無性に懐かしく思うことがある。

そして、現在の仕事への道を開いてくれたのも、英和の二人の先生のおかげだった。父親が転勤族で引越しが多かったせいか、土地によって言葉や習慣、また人の氣質が異なることに昔から興味はあった。そういうことを調べるのが「民俗学」であるというのを最初に教えてくださったのが、高等部日本史の先生である。その先生は、文献からだけでなく、絵巻物や村落に残された資料などからも歴史を知ることができると教えてくださった。勉強の苦手だった私が、初めて勉強に興味をもった瞬間だった。

進学する年に東洋英和の大学が新設され、そのまま大学に進学した。不思議な活気が大学にはあった。第一期ということでは、なんでもやってみよう」という実験的な気持ちで、教師や学生にあつたからかもしれない。ゼミの担当だった渡辺和子先生は、私が民俗学をやりたいと言うと、専門でないにもかかわらず、様々な後押しをしてくださった。大学院進学を勧めてくださったのも渡辺先生である。渡辺先生は私達に、女性は一生自分にしかできない職業を持たなくてはいけないとよくおっしゃられた。それは、私の背中を押してくれる大きな言葉であった。先生方だけでなく、英和の人達は皆、強い信念を持っていると思う。そういう人々が絶えず背中を押してくれていたのだ。私は今の仕事に就くことができた。大きな人生の転機には、絶えず英和の人達が指標を与えてくれていることに心から感謝したい。

秋田から

秋田県立博物館は秋田の自然環境や歴史や民俗、秋田に関わる人々などについて展示している総合博物館である。学芸員の仕事は展示活動だけでなく、博物館教室と称する様々な講座や小中学生への出前授業、広報活動など多岐にわたり、毎日があつという間に過ぎていって、気がつけば秋田に来て、今年で六年目になる。一つの展示を作り上げる作業は、昔、演劇部でわいわい言いながら劇を完成させていった過程と似ていなくもなく、英和にいた頃とあまり変わっていないんだなあと思うこともある。

冬の寒さは少々辛いですが、秋田は目にしみるほど景色が美しく、人々の氣質が穏やかな所である。みなさんも秋田へおいでの際には、ぜひ博物館まで足を運びいただきたい。



秋田県立博物館外観



中国甘肅省での海外研修。天水麦積山にて

マリア、恐れることはない

ルカによる福音書 一章二九節



「マリアの驚き」(生徒作品)
制作：塩入菜那

「マリアはこの言葉に恐れを抱きました。恐ろしがマリアを襲いました。まことに神がマリアを訪れたのです。神が訪れるのでなければ知ることのない恐れがマリアに臨んだのです。」

わたしたちの人生には、多くの恐れがあります。生きることに、喜ぶことに、良きことに、健やかなことに、それらを壊したり奪い取ったり押しつぶそうとする力に出会う時に受ける恐れです。わたしたちは皆を築き、自分を守ります。自分の人生において深い淵、深淵が口を開く、その時、わたしたちは必死になってその深淵のほとりに小さな家を建て、皆を築いて、恐れをもたらしものが通り過ぎるようにと企てるのです。いかなる絶望にもかかわらず、我を失わないですむための避難所です。しかし、マリアに臨んだ恐れはそれとは違います。その最後の皆をも奪ってしまうものでした。避難所に逃げていようとすするマリアを破壊し、マリアを圧倒するのです。神がマリアにお臨みになったのです。

そして、その恐れこそマリアに救いを告げるものでありました。「マリア、恐れることはない。あなたは神から恵みをいただいた」神の恵みが恐れの中に臨みました。マリアの皆、マリアの家、マリアの避難所ではありません。それらのものが、もはや何の力も意味ももたないで破壊されてしまふ、その恐れの中に、神の恵みが臨みました。

東洋英和女学院理事・評議員 張田 眞
鳥居坂教会牧師

小さいながらも随所に工夫が。野尻キャンプサイトの艇庫を訪ねました

今年の七月に、野尻キャンプサイトに於いて艇庫の改築竣工感謝礼拝が行われました。完成した艇庫は以前の艇庫とほぼ同じ大きさで高さですが、シャープなデザインで、ボートを格納する機能はもちろんのこと、随所に工夫がこらされています。

夏の野尻の気候は実にさわやかですが、冬は雪に閉ざされた銀世界。キャンパスサイトの建物は厳しい冬を乗り越えねばなりません。艇庫外壁の黒い部分はフッ素樹脂加工された鉄板で覆われ、その下半分はコンクリート造り、積雪による湿気や加重に耐えます。室内の湿気も建物を劣化させるため、その対策も万全で、断熱材は入れず内壁は地元の杉板材仕上げにして適度な湿度を保っています。

数々の工夫について設計・施工を担当してくださった地元

の宮嶋商事・宮嶋裕文社長が詳しく



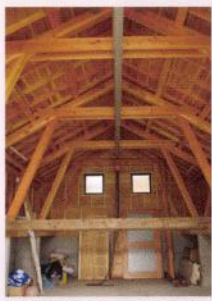
キャンプに必要な道具もここに収納されます



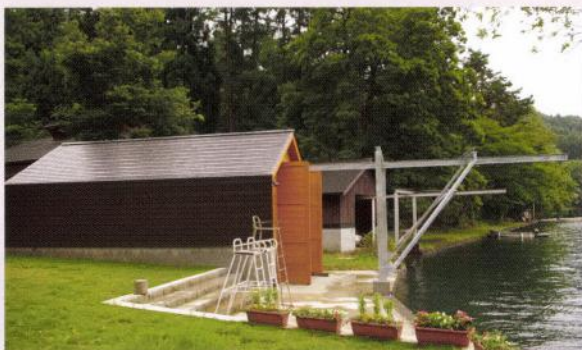
宮嶋商事 宮嶋裕文社長とご自慢の扉



メインホール前の湖畔に艇庫があります



艇庫内部。チェーンでボートを引き上げ中央のレールづたいに格納します



くご説明くださいました。宮嶋社長にはキャンプサイトの管理をはじめ冬の除雪作業までお世話になっています。社長のご自慢は艇庫の入口、柱目のペイマツ材でできた扉です。この扉は堅牢で、なおかつ人の手によって削られた美しい仕上がりです。野尻の自然によく映えるこの艇庫完成をもって一九九五年から始まった野尻の改修工事が無事完了しました。

幼稚園の誕生日会

幼稚園では毎月一回誕生日会を開き、クラスや学年で友達の成長を共に喜び、神様に感謝する礼拝を持ち、みんなでお祝いします。



誕生日会の日に好きなバッジの一つ選びエプロンにつけます



年長（5歳児）用のバッジです



ひよこ（3歳児）と年少（4歳児）用のバッジです



誕生日会の日はおやつも特別です。7月はアイスクリームでした



7月は「ことり」の歌に合わせて楽器で演奏会をしました



礼拝の後、楽しいひとときを過ごします。6月は、おそばやさんが届けて下さったかまぼこ板でゲームをしました。崩れずに高くしようと工夫を凝らしています

秋の風景より

かえて幼稚園の秋の生活は、九月初めの追分キャンプから始まります。そして秋の深まりと共に、子どもたちの遊びや関わりが豊かに深まっていきます。やがて子どもたちは、アドヴェントを迎え、クリスマスを待ちます。



家族でからだを思いきり動かすことを楽しむファミリーデー（大学グラウンドにて）



色づいた葉が散り、北風が冷たくなっても子どもたちは庭に出て遊びます



園庭にたわわに実ったクワイの収穫



近所の公園に散歩に出かけ、木登りをする子どもたち



追分キャンプ。秋を感じながら林の中を歩きました

成長を見守る

小学部では、春と秋の健康診断に加え、年に五回の身体測定があります。回数として多いのではないかと思われるかもしれませんが、それには理由があります。小学部の身体測定では、パソコンと連結した測定器を使います。計測した身長、体重、体脂肪率、脂肪量などの情報はその場でパソコンに入力され、データとして記録されていきます。その後、それらのデータを基に成長曲線が描かれ、個人情報として役立たせます。例えば、その子が成長障害を起こしていないか、ホルモンのバランスが崩れていないか、精神的な問題はないか、ストレスを溜め続けていないかなどを読み取ることができま

す。小学生は大人と違って、成長するのが大きな特徴です。見逃すと取り返しがつきません。そこで健やかな成長を支援するために、小学部の保健室ではそのような形で情報を集め、子どもとそのご家庭に適切で、より詳細なフィードバックをしています。

小学部では、時間的な制約がある中で年五回の身体測定を行い、変化を視覚的に、そして継続的に捉えられるように工夫をしています。

成長曲線そのものは珍しいものではあ

りません。特に乳幼児期は子どもたちの成長が著しく、母子手帳に記録されています。これから成長期を迎える中学年から高学年にかけての子どもにとって、身長の伸び方と体重の増え方の二つは、その子の成長具合がわかる大切な情報です。単純に成長の早さや成長の量を喜ぶのではなく、その子が適切な時期に、適切な成長をしているか確認することは、本人はもちろん担任にとっても嬉しいことの一つです。

各ご家庭でも、「成長を見守る」という観点で成長曲線を利用していただければとても有意義ではないでしょうか。

保健室から子どもたちへ、そしてそのご家庭への働きかけとして毎年歯磨き指導を行っています。歯科健診とは別に、歯の磨き方など口内衛生管理の方法を担任の教師が指導します。そして特に重要な一年生と六年生には、歯科衛生士の先



大事な節目の歯磨き指導

生をお招きして、特別教授していただいています。

「8020」というキーワードをご存知の方も多いかと思えます。これは八〇歳で自分の歯が二〇本以上ある状態を目指すというものです。そのためには幼児期から口内を清潔に保つためのスキルを身につけなければなりません。児童期になると歯は乳歯から永久歯へ生え変わりますから、それまで虫歯だった歯は一度リセットされます。しかし、それまでに虫歯だらけだった口内が、永久歯になった途端に清潔になるとは考えにくいです。

しかも、この生え変わりの間、子どもの口内は乳歯と永久歯が入り乱れます。大ききの異なる歯をきれいに磨くことがどれだけ難しいことか、子どもはもちろん、知らない大人も大勢います。ですから、小学校を卒業するまで大人の仕上げ磨きやチェックが大切なのです。

そのような話に加えて、虫歯の原因となる歯垢やミュータンス菌の紹介もします。そして歯磨き指導の中心は染め出し液を口の中に満遍なく広げ、歯にある歯垢を赤く染め出していきます。子どもたちは、赤くなった自分の口を鏡で見たり、隣の友達同士で見せ合ったりしながら、どのような場所が赤くなるか、メモ

をして確認します。中には赤くなったことを嬉しそうに報告してくる子もいます。

実習の中では、磨く歯の場所によって変わる歯ブラシの握り方や、力の入れ方などを学習しながら、染め出した歯が白くなるまで丁寧に、時間をかけて行います。普段見えにくく意識する機会も少ない虫歯の原因をきれいに落とすには、これだけの時間がかかるということを知った子どもたちからは、驚きの声と、きれいなようになった充実感と、喜びの笑顔がふれます。

実は口の中から生活が見えるということをご存知でしょうか。忙しかったり、イライラしたりすると口の中のケアは手抜きになりがちです。唾液などの口内環境は自律神経と深い関係があります。小学部では、

歯科健診も歯磨き指導も子ども一人ひとりに寄り添って成長発達を支援して、健康な心と体で神様にお仕えできるように行っています。

小学部では、

歯科健診も歯磨き指導も子ども一人ひとりに寄り添って成長発達を支援して、健康な心と体で神様にお仕えできるように行っています。

小学部では、

歯科健診も歯磨き指導も子ども一人ひとりに寄り添って成長発達を支援して、健康な心と体で神様にお仕えできるように行っています。

小学部では、

歯科健診も歯磨き指導も子ども一人ひとりに寄り添って成長発達を支援して、健康な心と体で神様にお仕えできるように行っています。



校内風景画 (中3)

中学3年間のまとめとして自分達が毎日過ごしている校内を写生しました。しっかりと鉛筆デッサンをした後で、水彩絵の具を淡彩(薄塗り)して仕上げています。

ただ建築物や風景を正しく描くというだけでなく、その美しさを感じて自分なりの視点で絵作りをさせるという所に重点を置いて指導しています。建築物を描くのは、静物画を描くのと違い遠近法など空間把握の正確さが要求され、中学生にとっては難しい課題です。それぞれが魅力を感じる場所を校内に捜し出し、晩秋の寒い廊下で熱心に描いている生徒が多くいました。



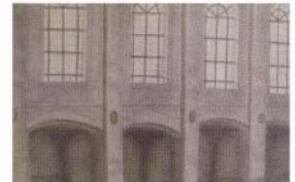
村松未来



相川美菜子



中山茉理央



永田桜子



小黒日香理



坂本真梨子



井上真理子



平田 葵



藤波果歩

硯箱 (高一)

この課題は完成までの作業工程がとても多く、絵を描く力やデザイン力、綺麗に彫りこむ器用さや、短時間内に塗装する手際など、美術の総合的な力を養うことができる課題です。また彫刻刀など道具の安全な使い方、計画的に作業を進めて期間内に終わらせる時間の管理力や完成力をつけさせる事にも重点を置いて指導しています。デザインは自分でお花等のモチーフを組み合わせたたり、図書室にあるふんだんな美術資料をもとに和柄やアールヌーヴォー調など既成のものを参考にしたりと、楽しみながら試行錯誤して決定しています。半年以上の期間をかけて制作するので生徒達は出来上がった作品にはとても深い思い入れを持つようです。



廣瀬 瞳



有馬知美



柴田真由子



東條あずさ



鈴木りほ



綿谷由梨



岡野桃子



宮城島万莉子



高城美智



山口彩芽

美術の授業は現在、中学部は中1が週1時間、中2が2時間、中3が1時間という授業時数で、高校生からは選択授業になっています。少ない授業時数の中で、いかに充実した美術の勉強をしてもらうかが大きな課題で、常に教材研究をしながら工夫と模索の日々です。東洋英和には幼少より本物の芸術に触れ、美術を愛

好している生徒がとて多く、全体のレベルも高いものがあると感じています。そのような生徒達の持っているものを最大限に引き出し、さらなる美的感覚と豊かな創造力を身につけてもらうことを目標としています。今回は2008年度の中2、中3、高一の授業の中から秀作を集めてご紹介いたします。

ボックスアート (中2)

毎年中2では1年間の最後の課題として立体制作を行っています。昨年は初めての試みとして、聖書の中からテーマを選んでボックスアートを制作することにしました。ボックスアートとは、枠の中に粘土やその他の素材で作ったモチーフを並べ、ジオラマにする作品のことです。

生徒達の選んだ場面は様々で、放蕩息子や羊飼いのエピソード、色々な奇跡のシーンなど、一人ひとりが色んな場面に思い入れを持っているということに驚かされました。聖書の中のどの場面も実際には誰も見たことのない風景です。イエス様の表情や周りの風景、身に付けている物などはどんな風だったろう？と絵本やカードを持って来て参考にしたり、それぞれの想像を膨らませながら制作しました。アイデアをまとめ形にするのは大変でしたが、創意工夫のつまった聖書のシーンはどれも生き生きと再現されていました。



遠山莉奈 最後の晩餐



久保田美和 イエスの死



小林梨子 再会した羊飼いと羊



柿野 恵
人間をとる漁師にしよう



長谷川恵美子 十人の乙女



近藤恵衣 バベルの塔



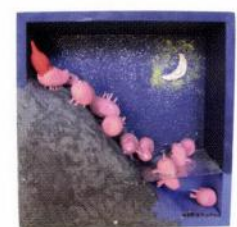
笹山すみれ 種をまく人



野原有由 牧場の聖母



松家文子
イエスはまことのぶどうの木



森山倫子 ブタ落ちる



石橋麗未 十戒



村山真貴子 放蕩息子



金澤 遥 水面を歩くイエス

横浜開港記念オリジナルショー

大学人間科学部 河本茉莉花さんが主演



「ミチエ」の衣装を着けた河本さん

横浜開港150周年記念オリジナルショー『ヴィジョン！ヨコハマ～未来へ。そして紡いできたもの～』（宮本亜門作・演出）の公演が5月31日（日）にパシフィコ横浜国立大ホールで行われました。この日だけの3回公演でしたが、横浜市民1500人からのオーディションで人間科学部4年生の河本茉莉花さんが選ばれました。主演「ミチエ」を演じ、せりふも踊りも玄人はだしで見事な舞台でした。

●出演した河本茉莉花さんのコメント●

昨夏、『横浜レング通信』で「宮本亜門作・演出オリジナルショー 出演者募集中！」という記事に、以前からミュージカルに憧れていた私は何か運命的なものを感じ、「宮本亜門さんの作品に出演できるなんて…これは応募するしかない!!」と、早速プロフィールを送りました。応募は1500人を超えましたが、私は幼少からクラシックバレエを習っていたのでダンス部門で応募、500人の横浜市民出演者のうちの一人に選ばれた時は、言葉にできないほど嬉しかったのを覚えています。

そして、更に嬉しいことに「ミチエ」という台詞のある役を頂きました。このショーは「ミチエ」とその家族の人生を通して横浜の歴史を辿り、未来を創っていくという物語。私は大変重要な役を頂いたのです。嬉しいと思う反面、今までちゃんとした演技の勉強をしたことがない私にこの役が務まるのか…と不安に思う気持ちもありました。けれども宮本亜門さんはとても優しい方で、演技について何もわからない私に、ひとつひとつ丁寧に教えて下さいました。本番前日のゲネプロ終了後、亜門さんが下さった言葉は今でも忘れることができません。「これはあなたにとってきっと素晴らしい経験になるから…と

にかく楽しんで思い切り演じなさい」本番はこの言葉を思い出しながら楽しく演じることができました。

今回強く感じたことは、舞台はみんなで作り上げていくということ。私は人一倍緊張してしまう性格でしたが、このショーの練習を通して、制作者、出演者はもちろん、裏方さんもみんな仲間なんだということを感じ、ひとりで緊張していた自分が本当に小さく思えました。

私にとってこの経験は一生の宝物です。今はこの素晴らしい経験ができたことに、そしていつも助けて下さった出演者やスタッフの皆さんに、支え応援してくれた家族や友人に、何よりこのチャンスを与え、最後まで温かく指導して下さいました。感謝の気持ちでいっぱいです。これからもこの経験を胸に、がんばって卒論を書いて私らしく生きていこうと思います。

人間科学部4年
河本茉莉花さん



河本さんのショーでの活躍を観た後輩や同級生からのこんな感想が寄せられています。

●開港150周年記念オリジナルショーを観て●

牧野 絢子^{あやこ}（人間科学部 1年）

私が横浜開港150周年記念式典に参加できたのは、父が応募した2000人の横浜市民参加枠に当選したからです。私はそれがどんなに素敵なことなのか、そのときはまだわかりませんでした。しかし当日会場へ行ってみると、たくさんのテレビカメラに厳重な警備体制、天皇皇后両陛下や総理大臣までみえた盛大な式典で驚きました。式典の後には、『ヴィジョン！ヨコハマ～未来へ。そして紡いできたもの～』という横浜開港150年の歴史と未来をテーマに演出家・宮本亜門さんが制作されたオリジナルショーがありました。150年という長い歴史の中で先人たちの様々な苦労や努力があってこそ、今の横浜があるのだということがよくわかりました。ショーの中でステージ上を美しく舞うとても印象的なバレエダンサーがいました。後からそれが東洋英和女学院大学の先輩、河本茉莉花さんであったことを知ったときはとても驚き、そして誇らしく思いました。そんなステージに立つことができた先輩は本当に名誉あることだと思います。横浜市民として開港150周年を祝う式典に参加できたことをとても幸せに思っています。

鶴田 ちよ（人間科学部 4年）

今回私が、このショーを観るきっかけとなったのは、私の友人である河本茉莉花さん（通称ジャスミン）がオーディションに合格して出演できることになったからです。私は当日の第2回公演を観ました。はじめに佐々木主浩をゲストに迎えて、ナビゲータの飯島直子、谷原章介とのトークで始まり、そのまま横浜市民の宝物紹介というテーマに移ります。横浜市民の一人である老婆が万華鏡を翳すと、照明や舞台背景に映像を写し過去へと遡り、そこから横浜の歴史や文化、人物について音楽やダンスでテンポ良く語られていきます。その中で老婆の娘時代のミチエという役を友人は演じていました。ミチエが居ることで、観客はステージに置いていかれず、万華鏡は未来の子ども達に託す思いに似せて、速い展開にもついていけたように思えました。小さな子どもからお年寄りまで、様々な人のパフォーマンスも盛り込まれ、最後には<ゆず>の二人まで出演。彼等の曲を出演者総出演で大合唱し、皆が楽しんでいるというのが伝わってくるショーでした。

東洋英和
幼稚園



父母の会

- 父母の会 6月6日(土)
「心のふるさと」と題して、チェリスト、井上とも子先生による音楽とお話の会が行われました。いちようの木献金セール
- 6月26日(金)
今年も、お母様方のお働きにより、心のこもった手作り品と献品が並び、皆様と豊かな時を持ちました。
- 五歳児キャンプ
7月8日(水)～10日(金)
軽井沢分寮へ二泊三日のキャンプに、五歳児の子どもたちが出かけました。キャンプファイアーで歌や踊りを楽しみ、二日目には牧場に出かけ、牛との出会いやお楽しみ会があり、仲間と楽しい時を過ごしました。
- 終業礼拝 7月15日(水)

大学付属
かえで
幼稚園



夕涼み会
—南の島のかいじゅう踊りを楽しむ子どもたち—

- ワークII 6月6日(土)
- 歯科健診 6月11日(木)
- 四歳児親と子の集い
6月22日(月)・29日(月)
- 三歳児たのしみ会・終業礼拝
7月17日(金)
- 四・五歳児終業礼拝
7月17日(金)
- 四・五歳児夕涼み会
7月18日(土)
- 今年は「南の島」をイメージしての夕べでした。集いのフィナーレでは美しい花火を楽しみました。
- 美しが丘夏祭り 7月26日(日)
美しが丘地域の夏祭りに参加し、多くの方と共に楽しく踊りました。
- 大掃除 8月25日(火)
親子で、汗を流して掃除や草むしりをしました。

小学部



運動会

- 運動会 6月1日(月)
天候不良で延期、平日開催となりましたが、どの種目にも全力で取り組む姿が輝いていました。ペンテコステ礼拝
- 6月3日(水)
卒業生で、ベテル教会の網中彰子牧師に「見えない愛」と題して説教をしていただきました。
- 児童引き取り訓練
6月19日(金)
保護者の方に速やかに迎えに来ていただく訓練に加え、交通機関の乱れが生じた場合を想定して、一部区間を徒歩で帰宅する訓練を実施しました。
- 夏期学校
7月14日(火)～30日(木)
友人や先生と共に追分寮で過ごす経験は、かけがえのないものとなります。一年生から六年生が参加しました。

中高部



野尻キャンプ —ヨット—

- 高一カンファレンス
6月18日(木)～19日(金)
恵みシャレー軽井沢にて戸波義憲牧師(横浜菊名教会)をお招きしました。
- 中学部合唱コンクール
高等部球技会
6月26日(金)
- 中2夏期学校前・後期(野尻湖)
7月21日(火)～28日(火)
- 訓練キャンプ(野尻湖)
7月29日(水)～8月1日(土)
- キャンプ(野尻湖)
8月1日(土)～6日(木)
水泳、ボート、ヨット、カヤックを選択し、キャンプ生活を楽しましました。
- 夏期修養会(追分寮)
8月3日(月)～5日(水)
- カナダ語学研修は新型インフルエンザ流行のため、事前に中止となりました。

大学
大学院



オープンキャンパス
—在学生が高校生に入試体験を話す—

- (大学)
● 大学創立二〇周年記念式典
6月27日(土)
式典の後、名誉教授授与式、記念講演会を行いました。
- 保護者との懇談会
7月11日(土)
卒業生三人に体験談を語ってもらい、好評でした。
- オープンキャンパス
6月7日(日)、7月25日(土)
8月22日(土)
ガイダンス、個別相談、ミニ授業など。二五日は、一日の来場者数が七九四名と過去最高で、教員、職員、学生は大奮闘。(大学院)
- 後期入学試験 7月4日(土)
人間科学研究科(臨床心理学領域を除く)、国際協力研究科
- 入試説明・相談会(両研究科)
7月25日(土)

